



PHOTO: Cliff Moore

Pierre Deligne

ピエール・ドリーニュは1944年10月3日、ベルギーのブリュッセル、エテルベークで生まれた。現在、米国ニュージャージー州のプリンストン高等研究所、数学科の名誉教授である。ドリーニュは、1970年にフランス、パリ近郊のビュール・シュル・イヴェットにあるフランス高等科学研究所(IHÉS)の史上最年少の専任研究員に任じられ、その後1984年にプリンストンに就任した。

ドリーニュは12歳ぐらいの頃、兄の大学の数学書を読み始め、説明を求めた。彼の数学への関心を知り、高校の数学教師、J. ナイスは数巻のニコラ・ブルバキ（フランスの数学を刷新した、ペンネームの影武者）の『数学原論』を貸した。普通は14歳の少年に与えることなど夢にも思わぬような読み物であるが、ドリーニュにとって、これは人生を変える経験となった。その時から、彼は決して後戻りすることはなかった。

父親は、ドリーニュが技師になって裕福な生活ができるようなキャリアを積んでほしいと望んだが、彼は早くから自分の本当に好きなことをすべきだと分かっていた。そして本当に好きなことは数学であった。彼はブリュッセル自由大学で数学を学び、1966年に数学の学士号、1968年に博士号を授与された。1972年にはパリ第11大学から数学博士号を授与された。

ドリーニュは高校教師になるためにブリュッセル大学へ行き、数学は自分自身の楽しみのために趣味として続けていこうと考えていた。その大学でジャック・ティッツに師事し、ドリーニュは、彼の言葉を借りれば「遊んで、即ち数

学の研究をして、飯を食うこともできる」ことがわかって喜んだ。

パリ高等師範学校での聴講生としての一年間の後、ドリーニュはベルギー国立科学研究基金の若手科学者、そして同時に高等科学研究所(IHÉS)の客員となった。ドリーニュは1968年から、1970年に専任研究員に任じられるまで、高等科学研究所の客員であった。

また同時に彼は、1972年から1973年にかけて、及び1977年にプリンストン高等研究所の所員、1981年に客員を勤め、1984年に教授職に就任した。

—

ピエール・ドリーニュは、アーベル賞委員会の言を引けば、「代数幾何学への発展性ある貢献と、数論、表現論、及び関連分野に変化をもたらした、その強い影響力に対して」アーベル賞を授与される。

ドリーニュは、数学の様々な分野の関連を見出すことに秀でた数学者である。彼の研究は幾つもの重要な発見につながった。その最も有名な功績のひとつは、1973年におけるヴェイユ予想の証明であった。これにより、彼は1978年にフィールズ賞を、1988年にアレクサンドル・グロタンディークとともにクラフォード賞を受賞した。

ヴェイユ予想の見事な証明によって、ドリーニュは若くして数学界で有名になった。この最初の成果に続いて、複雑

な技法と独創的な方法を以って、実に様々な、しかも難解な分野において成果を示した。彼は代数幾何学と数論における業績によって最もよく知られているが、他の幾つかの数学の領域にも多大な貢献をしてきた。

ドリーニュは非常に影響力の大きい数学者で、ドリーニュ予想、ドリーニュ=マンフォード・曲線モジュライ空間、ドリーニュ=マンフォード・スタック、ドリーニュ・コホモロジー等をはじめとする数多くの数学概念に彼の名が冠せられている。単独での著作と共著を併せて、ドリーニュはおよそ百にのぼる論文を執筆している。

賞と栄誉

ドリーニュは多くの著名な国際的な賞を受賞している。1978年、ヘルシンキの国際数学者会議でフィールズ賞を受賞した。1974年にはベルギー王立アカデミーからフランソワ・デロイツ賞を、フランス科学アカデミーからアンリ・ポアンカレ賞を授与されている。1975年には、ベルギー国立科学財団から A. デ・レーウ・ダムリ・ブルレール賞を授与された。

1988年、ドリーニュは A. グロタンディークとともにスウェーデン王立科学アカデミーからクラフォード賞を授与された。ドリーニュが2004年に受賞したバルザン賞数学部門の賞金は百万スイスフランで、バルザン財団はその半額を若

手研究者の支援のために費やすことを要請しているが、ドリーニュは、ロシア、ウクライナ、ベラルーシで活躍している若手数学者を支援する三年間の研究助成金制度を設立した。

2008年、ドリーニュは P. グリフィス及び D. マンフォードとともにウルフ賞数学部門を受賞した。

ドリーニュは、2006年にベルギー国王、アルバート二世に伯爵の位を授けられ、ベルギー郵政省は彼の基礎数学における功績を称えて記念切手を発行した。

ピエール・ドリーニュは1995年以来モスクワ数学会の、また2003年以来ロンドン数学会の名誉会員である。1978年に米国芸術科学アカデミーの外国人名誉会員に選出され、2009年に米国哲学会の会員になった。2009年にはスウェーデン王立科学アカデミーの外国人会員に選ばれた。

その他の学術的栄誉の例:

パリ科学アカデミー、外国人準会員に選出 (1978)
ブリュッセル自由大学、名誉博士号 (1989)
ベルギー王立アカデミー、準会員に選出 (1994)
高等師範学校、名誉博士号 (1995)
アカデミア・デイ・リンチェイ、外国人会員に選出 (2003)
国立科学アカデミー、外国人準会員に選出 (2007)

